

令和8年度 音楽科 第1学年 年間評価計画

月	■題材名 ●教材	時数	題材の目標	知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
4~5	■歌詞の内容や曲の雰囲気を感じ取って ●〈歌唱〉校歌	5	歌詞の内容の意味を知り、曲想と結び付けて表現しよう。	「校歌」の音楽の構造について理解し、歌詞の内容や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	「校歌」に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、歌唱表現を創意工夫している。	「校歌」に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習に取り組んでいる。
4~5	■音楽の構造と曲想との関わりを感じ取って ●〈鑑賞〉「春」	5	物語の進行と関係する曲想の変化を感じ取り、音楽の特徴を捉えながら聴き深めよう	「春」の曲想とリトルネッソ形式やソネットとの関わりについて理解し、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史についての知識を身につけている。	「春」の観賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、曲や演奏に対する評価と根拠について自分なりに考えている。	「春」の観賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習に取り組むことができています。
6	■音符のつなげ方によるリズムの違いを理解して ●〈創作〉「記譜法」	4	リズムの組み合わせや反復を工夫し、音符のつなげ方によるリズムの違いを理解して創作しよう。	リズムの反復や組み合わせによるリズムパターンの特徴を理解し、指定された条件に沿って音符をつなげる技能が身につけている。	創作に関する知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある表現を創意工夫している。	創作に関する知識、技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
9~10	■曲想や声部の役割を感じ取って ●「夏の日のおくりもの」	4	曲想や声部の役割を感じ取り、それらを生かした表現を工夫しよう	楽曲に関する知識、曲想と形式や歌詞との関わりについての知識、曲想や声部の役割を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけている。	歌唱表現に関わる知識（曲想と形式や歌詞との関わり）や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
9~10	■物語の進行と関係する曲想の変化を感じ取り ●〈鑑賞〉「魔王」	5	物語の進行と関係する曲想の変化を感じ取り、音楽の特徴を捉えながら聴き深めよう	「魔王」の曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史についての知識を身につけている。	「魔王」の観賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、曲や演奏に対する評価と根拠について自分なりに考えている。	「魔王」の観賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習に取り組むことができています。
9~10	■音楽のもつ多様性に関心を持って ●〈鑑賞〉「民謡」	3	郷土のさまざまな民謡を味わいながら鑑賞しよう	郷土のさまざまな民謡の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、その音楽の特徴とその特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	郷土のさまざまな民謡の音色、リズム、旋律を近くし、それらの働きが意味出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えることができています。	郷土のさまざまな民謡の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、その音楽の特徴とその特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習に取り組んでいる。
10~11	■言葉のつながりとリズムのまとまりを意識して ●〈創作〉「校歌を作ろう」	4	言葉のニュアンスを意識してイメージに合う旋律、リズムを創作しよう。	言葉の抑揚、リズムによる音のつながり方の特徴を理解し、言葉の抑揚に基づいて適切な音を選択する技能が身につけている。	創作表現に関わる知識（言葉の抑揚、リズムによる音のつながり方の特徴）、技能（言葉の抑揚に基づいて適切な音を選択する技能）を得たり生かしたりしながら創作表現を創意工夫している。	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
12	■箏の音色と奏法を意識して ●〈器楽〉「箏」	3	箏の基本的な奏法を身につけて、演奏表現を工夫しよう。	箏の音色と奏法との関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現で演奏するための右手の使い方などの基本的な技能を身につけている。	器楽に関する知識（箏の音色と奏法との関わり）や技能（創意工夫を生かした表現で演奏するための右手の使い方など）を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に対して主体的・協働的に取り組んでいる。
11~2	■曲想や声部の役割を感じ取って ●〈歌唱〉「合唱コンクール各クラス自由曲」	10	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	曲想を感じ取りながら声部の役割を生かして表現したり、音楽の構成を理解して鑑賞したりしよう	音楽の構造と曲想との関わりについての知識、歌詞の内容や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	歌唱表現に関わる知識（音楽の構造と曲想との関わり）や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。
3	■曲想を豊かに感じ取って ●卒業式歌	2	曲想を感じ取りながら声部の役割を生かして表現を工夫しよう。	音楽の構造と曲想との関わりについての知識、歌詞の内容や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	歌唱表現に関わる知識（音楽の構造と曲想との関わり）や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

計45

< 評価基準 >

(Ⅰ)定期テスト,実技テスト,鑑賞プリント,小テストなど (Ⅱ)定期テスト,実技テスト,鑑賞プリントなど (Ⅲ)定期テスト,実技テスト,鑑賞プリント,鑑賞レポート,小テストなど